

# かがやき

～一人一人が輝くように～

第7号

平成29年12月18日発行

緑の木に色鮮やかに配色されたツリー、定番の曲を耳にする季節となりました。まさしく、「光陰矢のごとし」年の瀬に向かい、慌ただしい中でもみんなは、目標に向かって継続的な努力をしているものと信じています。さて、来年2月に韓国・平昌(ピョンチャン)で開催される冬季オリンピックに向けて、世界を舞台にウインタースポーツのアスリートたちがワールドカップなどで活躍していることが毎日ニュースになっています。そんなニュースを見ていたとき、思い浮かんだこと。

オリンピックは、4年に一度・・・2月のオリンピック本番(自分の試合日)に焦点を当て、アスリートたちは怪我などにも気を付けながら、連戦、練習の日々を送っているのだろう。勝てない日や天候に恵まれない日、調子の悪い日もある中、これまで積み上げてきたことを発揮するために自分の気持ちをコントロールし、すごい集中力で当日に臨むのだろうな、やっぱり世界で活躍するアスリートはすごい精神力の持ち主なのだろうと勝手に想像を膨らませ、みんなの受検と照らし合わせてニュースを見ていました。これから待ち受ける受検は、3年に一度、試験日も決まっています。世界のトップアスリートもみんなも同じ人間。人は、目標達成の意識が強ければ強いほど、自分をその気にさせ、そうやっていくのだと思います。試験当日、これまで積み上げてきたことを発揮するためには、これからの生活、勉強への取組方が益々、大事になってきます。まだ、しばらく我慢を強いられる日が続きますが、どうか投げ出さず歯を食いしばって食らいついてください。

保護者の皆様には、いつも変わらぬご理解とご協力、ありがとうございます。年末年始、家族で過ごす時、子供たちがほっとし、癒やしを感じる時だと思います。「15の春を笑顔で迎える」為にも一層のご協力をお願いいたします。また、これからの時期、感染症の流行が懸念されます。人の多く集まる場所などへの不要の外出にも配慮いただき、万全を期して最終学期を迎え、乗り越えられるようお願いいたします。終わりにになりましたが、よいお年をお迎えてください。

学年主任 辻 里美

## <1月、2月の主な行事予定> 予定は変更になることがあります。

### 1月

- 5日(金) 県立高校推薦選抜希望用紙提出×切日(AM10:00)
- 9日(火) 始業式、書初(給食あり・午後放課)
- 10日(水) 11日(木) 第6回到達と確認テスト
- 20日(土) 土曜授業
- 23日(火) 第7回到達と確認テスト
- 29日(月)、30日(火) 保護者懇談会

### 2月

- 1日(木) 私立高校一般入試
- 13日(火) 県立高校推薦入試
- 14日(水)～16日(金) 学年末考査
- 17日(土) 土曜授業・予餞会
- 20日(火)～23日(金) 教育相談

## 「心」を鍛える1枚の紙きれ

### 成功者と失敗者の比較

	成 功 者	失 敗 者
1	人間的に成長しようと努力する	自分に甘く、困難から逃げる
2	自信とプライドをもっている	人の非難や言い訳ばかり口にする
3	はっきりとした目標をもっている	目標があいまいで、はっきりとしない
4	人のために役に立ちたい	自分さえよければよい
5	うまくいく行動パターンをもっている	気まぐれで場当たりの行動が目立つ
6	失敗を次の成功に生かす	失敗を恐れて、次は何もしない
7	やるべきことを、すぐにやり始める	やるべきことを、後へ後へと引き延ばす
8	「やる」と決めたことを、やり通す	「やる」と決めたことを、途中で投げ出す
9	仲間を信じて行動する	傷付くことを恐れて行動しない
10	時間とお金を有効に使う	時間とお金を垂れ流し、後悔する
11	「できる方法」を考える	「できない理由」が先に出る
12	可能性に挑戦し続ける	不可能だとあきらめる

### 勝利者と敗北者との比較

勝 利 者		敗 北 者
何事も「自分から進んでやる」	姿 勢	何事も「人にやらされている」
達成感「自分は確実に成長している」	意 識	被害妄想「ひどい目に遭っている」
自分に「厳しく」、仲間に「優しい」	行 動	自分に「甘く」、仲間に「冷たい」
自分を信じ、突き進む	判 断	迷い、戸惑い、うろたえる
闘魂あふれて、意気揚々	精 神	恐れ、びびって、「キャイン」の悲鳴
失敗は「自己責任」、成功は「おかげさま」	結 果	失敗は「人のせい」、成功は「私の手柄」

### 日常の五心

- 一 「はい」という 素直な心
- 一 「すみません」という 反省の心
- 一 「私がします」という 奉仕の心
- 一 「おかげさま」という 謙虚な心
- 一 「ありがとう」という 感謝の心

## <いじめ0運動の取組み>

いじめ0運動の取組では、「いじめのない学年であるために大切な心」を各クラスで話し合いました。その結果1位は、「思いやり」でした。また、各クラスの道徳で「思いやり」について考えを深めました。そして、学年集会で各クラスが発表をしました。



## いじめのない学年、学校にするために、「思いやり」について考えたこと

<b>1組</b>	「思いやり」とは、相手が嬉しくなる行動であり、周りの気配りを見付けて自分も動こうとするなどなどの意見が出ました。個性あふれるそれぞれの「思いやり」を温かい心で広げたいです。
<b>2組</b>	道徳の授業を通して、小さなことでも誰かのために行動すること、行動する人を見付けたら感謝をすることが「幸せの循環」になると思いました。「幸せの循環」を意識していきたいです。
<b>3組</b>	道徳の授業を通して、人のことを思って行動することを「思いやり」だと考えました。「思いやり」は一言で表せませんが、朝早く来て掃除をする等、私たちの身近にも「思いやり」があることに気付きました。
<b>4組</b>	道徳の授業を通して、相手の立場になって考えることだけでなく、相手を大切に思う心から生まれるものが「思いやり」だと思いました。この「思いやり」の心を大切にしたいです。
<b>5組</b>	「思いやり」とは、人のことを思い行動すること、自分の意志を貫くことです。それには、勇気が必要で、その勇気の源は仲間を信頼する愛だと思えます。温かい気持ちは秘めているだけでなく発信し、個性を尊重して、今よりももっと温かい集団を創りたいです。

## <生徒会引継ぎ>

生徒会選挙の結果を受けて、新しい執行部に引き継がれました。執行部5人の仲間の頑張りで、多くの行事が大成功に終わりました。1年間、お疲れ様でした。ありがとうね！

## 生徒会の活動を終えて

この1年間、3年の学年委員を始め、多くの方々にたくさん協力していただきました。1年間を通して、どの行事にも全力を出すことができました。予餞会や文化祭等のオープニングでは、「どうしたら行事を盛り上げられるだろう、みんなが楽しめるだろう」と執行部の仲間と考えました。いつも不安と緊張を抱えながら本番に臨みましたが、本番ではみなさんからの温かな大きな拍手をもらい、僕たちの方が勇気をもらいました。また、全校集会では、いつもこちらの呼びかけに大きな挨拶や返事をしてくださいました。うまく伝えきれない執行部の思いを、みなさんが真剣な態度で聞いてくれ、応えてくれたからこそ、全校に伝えられたと思います。

多くの方々に支えていただき、貴重な経験をすることができ、大きく成長できた1年でした。本当にありがとうございました。

生徒会長 石坂 亜蓮

みなさん、これまで僕たち執行部を支えてくださり、ありがとうございました。5月の生徒総会に始まり、9月の体育大会、10月の文化祭・合唱コンクールでは、みなさんのたくさんの「本気」を見ることができました。また、挨拶運動では、あまり呼びかけることができなかつたにも関わらず、多くの方が自ら積極的に参加してくれて、たくさんの温かい心に触れることができました。執行部での1年間で、本気で物事に取り組むことや温かい心をもつことは、必ず「笑顔」につながっていくことを改めて実感できました。

最後に、いつも生徒会に協力し先頭に立って学年を引張ってくれた学年委員のみなさん、積極的に活動に参加してくれたみなさん、いつも応援して下さった先生方、感謝することが多すぎて、言い尽くせないほどです。これまで、本当にありがとうございました。

生徒会副会長 山口 智生



生徒会引継ぎ式



執行部のみなさん、お疲れさま！